

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/04/20号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



イラン戦争の終結期待で2週連続の下落

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台前半まで下落した。4月11日の米国とイランの協議が決裂したことを受けて、週明け13日の取引で105.63ドルまで急伸した。しかし、その後は改めて戦争終結への期待感を織り込む動きが優勢になった。米国とイランの双方から再協議に前向きな姿勢が示されたことで、戦争終結は近いとの楽観的な見方が強まった。17日には、イスラエルとレバノンの停戦合意を受け、イランが停戦期間中のホルムズ海峡開放を表明したことが材料視され、値下がりが加速した。2026年8月限以降の限月では、終値で80ドルを割り込んだ。

引き続きホルムズ海峡からの流通量は低水準にとどまっている。トランプ米大統領は4月11日のイランとの協議決裂を受けて、米国もホルムズ海峡の閉鎖に踏み切った。これによってホルムズ海峡の流通が一段と細るリスクが高まり、供給不足の深刻化が現物相場を押し上げた。しかし、先物市場ではイラン戦争終結の織り込みの方が優勢であり、期近限月に加算されていたリスクプレミアムは急速に剥落した。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (4月10日時点) は、原油が前週91万バレル減、ガソリンが633万バレル減、石油精製品が312万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

イラン戦争終結期待だと一段安へ、現物市場の混乱には要注意

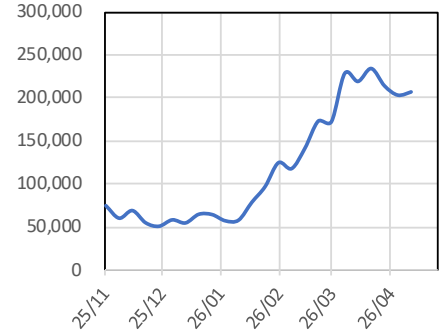
イラン戦争の終結プロセスを織り込む形で、上値の重い展開が続きやすい。ただし、原油・石油製品の流通が回復に向かうかは依然として大きな不透明感を抱えており、引き続き突発的な急伸リスクも伴う不安定な地合が想定される。

イランは、ホルムズ海峡の封鎖解除を表明した。もっとも、イスラエルとレバノンの停戦期間に限定されたものであり、改めて軍事衝突が発生すれば即座に封鎖が再開される可能性がある。また、米国は4月17日現在、ホルムズ海峡の閉鎖を継続する方針を示しており、1~2週間先の流通環境は見通しづらい。

現物相場が高騰した状態が続いている点にも注意が必要だ。先物相場はイラン戦争終結後为先取りし、明確な値下がり傾向にある。しかし、現時点ではホルムズ海峡の流通量が大幅に改善しているわけではなく、消費国の原油・石油製品の供給不足が解消に向かっていないわけではない。仮にホルムズ海峡の流通が正常化しても、消費国に到着するのは数週間後になる。現物相場の高騰が続いている間は、先物市場も高騰再開を迫られる可能性がある。あくまでも供給環境の改善期待の値下がりであり、現実の供給環境は依然として混乱状況にあることに注意が必要だ。

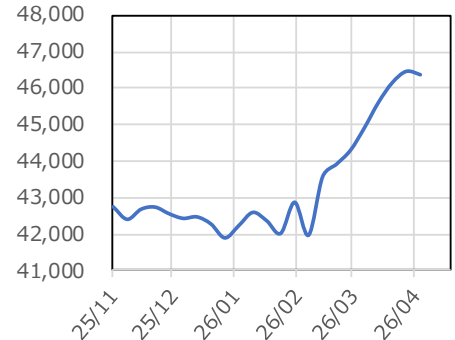
前週に続いて、ホルムズ海峡の流通環境次第の展開になる見通しだ。上下双方に一本調子の値動きにはなりづらい。イラン戦争の終結でホルムズ海峡の流通量が回復していけば、原油相場はこのまま80ドル割れを試す可能性が高まる。逆にイランが改めてホルムズ海峡を封鎖するといった混乱がみられると、容易に90ドル台を回復する可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



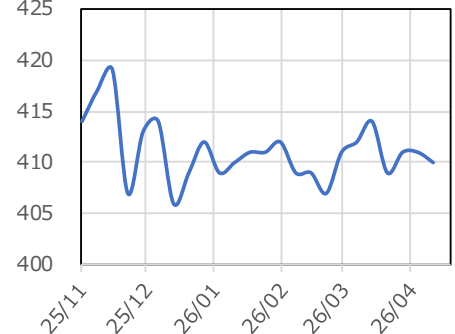
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

